

路地百選推薦書

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	金沢主計町（かずえまち）
所在地	

【推薦する理由（路地のよいところ）】

浅野川沿いの浅野川大橋のたもとに木造 2～3 階建ての街並みが連なり、独特の風情を醸している。川沿いの道路と平行して一本裏側にメインの幅員 2m 強の路地があり、そのほぼ中央に見番がある。このメインの路地に直交して浅野川へ向かう路地は、いずれも細く幅員 1.5m ほどである。また、メインの路地から尾張町へは崖となっており、路地の先はいずれも細い階段となっている。路地の建物は軒と軒を接する様に建ち、石畳と調和してあたかもタイムスリップしたかのような空間となっている。



← 浅野川沿
いの街並み

見番奥の尾張
町への階段→

見番前の照葉
桜命名の記↓



←メインの
路地

見番前の路地
と照葉桜→



浅野川対岸より見る



浅野川側から入る路地



尾張町へと通じる路地(上下両方向)



路地	面積	約	h a	路地の延長	約	m
のま ちの 概要	まちの 成り立 ち、 特色等	金沢の東茶屋街、西茶屋街と並ぶ三大茶屋街の一つ。明治 2 年には遊郭となっていた。富田主計重家の屋敷があったことから名付けられた。1970 年に住居表示の実施により尾張町二丁目の一部となったが、平成 11 年住民と市の協議を経て旧町名が復活した。旧町名復活は全国初。泉鏡花の「照葉狂言」の舞台となった近くに中の橋が架かる。				